

第4号様式（第10条関係）

会 議 録（要 旨）

会 議 名	第19回武蔵村山市環境審議会
開 催 日 時	平成25年11月8日（金）（午後1時～午後3時30分）
開 催 場 所	武蔵村山市立緑が丘ふれあいセンター（1F学習室）
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：柳下佳仁会長、熊木正好副会長、吉田洋市委員、高木宏友委員、 田島せつ子委員、中山忠委員、加藤大明委員、川島修委員、 飯田いずみ委員（9名出席） 欠席者：大道和彦委員（1名欠席） 事務局：生活環境部長、環境課長、環境課主査（環境保全グループ）、 環境課主事（環境保全グループ）（5名出席）
議 題	1 平成24年度武蔵村山市環境基本計画に基づく報告書（武蔵村山市年次報告書）の環境指標及び環境施策の点検・評価について 2 その他
配 布 資 料	・次第 ・「平成18年度から平成23年度までの進展した取組一覧表」（資料1） ・「緑地の増減について」（資料2） ・平成24年度武蔵村山市環境基本計画に基づく報告書（武蔵村山市年次報告書）（案）
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	議題1：市長からの諮問を受けて、環境審議会委員が「平成24年度武蔵村山市環境基本計画に基づく報告書（武蔵村山市年次報告書）（案）」の事業実施報告について審議した。審議した結果、審議会での意見を踏まえ報告書を修正し、会長が市長に対し答申を行うこととした。なお、報告書の文書表現等については、会長と事務局に一任することとなった。 議題2：なし。
審 議 経 過 （主な意見等を原則としてページ順に記載し、同一内容は一つにまとめる。） （○＝委員、 ●＝事務局等）	議題1 平成24年度武蔵村山市環境基本計画に基づく報告書（武蔵村山市年次報告書）の環境指標及び環境施策の点検・評価 【説明要旨：平成24年度武蔵村山市環境基本計画に基づく報告書（武蔵村山市年次報告書）（案）を参照】 ● 前回の平成24年度武蔵村山市環境基本計画に基づく（武蔵村山市年次報告書）（案）の変更点を説明。 【主な意見等】 ○ 6ページ、「武蔵村山市年次報告書」を通じた見直し（毎年度実施）のActionについて、「翌年度」と記載されているが、この年次報告書が活用されるのは、翌々年度になるのではないかと。 ● 可能な限り、翌年度に年次報告書の取組結果を活用できるようにしている。 ○ 8ページ、環境指標の「狭山丘陵周辺公園等面積」で、目標値219.2haとなっているが、22年度から面積が増加していないが、市はどのような対応をしているのか。 ● 現在、東京都が狭山丘陵周辺の中藤公園等を優先整備区域に指定しているが、どのように進めていくか等、具体的なことはまだ決まっていないことから、市は東京都に対して、早期の整備の要望を行っている。 ○ 東京都に狭山丘陵周辺の整備を要望したということであったが、要望した結果はどうであったのかを教えてください。

- 要望した結果、具体的な回答はなかった。
- 10ページ、環境指標「水辺と触れ合える箇所数（箇所）」で、目標7箇所の内訳を教えてください。
- 現在、残堀川に3箇所設置されているが、今後、空堀川の整備に合わせて東京都に要望していることを含め、7箇所と目標を定めている。
- 環境施策の方向と市の取組、「水辺と親しめるような場所の整備について努めます。」について、東京都に対して、残堀川「いこいの水辺事業」の早期復活を要望していくとあるが、どういう事業であるのか、また、環境指標の「水辺と触れ合える箇所数（箇所）」の目標の中に空堀川も含まれているなら、空堀川についても記載した方が良いのではないか。
- 「いこいの水辺事業」は、残堀川の歩道を東京都から管理費の補助で、ごみ拾いや雑草の除去等を行う事業であり、東京都に対して、いこいの水辺事業の早期復活の要望を行っている。また、目標の中には、残堀川3箇所で残りの4箇所については、空堀川の整備と併せて、残堀川と同様に親水広場の整備の東京都へ要望を行っていることを含めている。なお、残堀川だけではなく、空堀川についての取組も記載することとする。
- 10ページ、環境施策の方向と市の取組「河川の水質の保全に努めます。」で、取組状況として、「残堀川及び空堀川の河川水中ダイオキシン類調査を1回実施」とあるが、この調査の結果が22ページに記載されているので、その旨を記載された方が良いのではないか。
- 記載することとする。
- 11ページ、環境施策の方向と市の取組「都や周辺市町と連携して、水量確保の対策を進めます。」の取組状況で、「空堀川水環境確保対策会（清瀬市・東村山市・東大和市・武蔵村山市）で調査、検討を行い、その結果をもって空堀川水質浄化対策検討会（都主催）で更に検討」とあるが、空堀川水質浄化対策検討会は平成24年度に開催されたのか。また、どのくらいの周期で開催されるものなのかを記載した方が良いのではないか。
- 空堀川水質浄化対策検討会は1回開催されており、年に1回開催している。その旨を記載することとする。
- 全体的なことであるが、「～を要望した。」という表現が複数あるが、要望した結果を記載した方が良いのではないか。
- 東京都へ要望した回答がされるまで時間を要することが多いので、当該年度に回答があった場合は記載できるが、そうでない場合は記載することができない。
- 東京都へ要望した結果、回答がない場合、「明確な回答はないが、今後も継続して要望していく」等を記載したらどうか。
- 東京都へ引き続き要望していくかは、その時の状況による。また、年次報告書なので、平成24年度に回答があれば記載することができる。
- 12ページ、環境指標「動植物の生育・生息状況を把握し、市民・事業者の環境保全意識を高める。」について、環境学習会を2回実施と記載してあるが、plan、do、check、actionのdoしか記載されていないので、「環境学習会を計画通り2回実施した」の様に計画通りなのか、計画とは違っていったのかを記載した方が良いのではないか。
- 環境学習会については毎年度2回計画し、実施しており、表記については検討することとする。
- 12ページ、環境施策の方向と市の取組「自然観察会の開催・支援を行います。」で、取組状況では4回開催と記載されているが、環境指標

「動植物の生育・生息状況を把握し、市民・事業所の環境保全意識を高める。」では、環境学習会を2回実施となっているのは、どういうことか。

●環境指標の中で、「動植物の生育・生息状況を把握」は、環境学習会である。

また、環境施策の方向と市の取組については、自然観察会ということで、環境学習会についても記載しており、他の自然観察会については、環境指標の「動植物の生育・生息状況を把握」に該当しないので環境指標には記載しないこととした。

○13ページ、環境指標「一人当たりの都市計画公園等面積（㎡/人）」で、目標値に対して減少しているのはどういうことか。

●市の人口が増加していることが考えられる。

○13ページ、環境施策の方向と市の取組「公共・公益施設における緑化を推進します。」で緑が丘出張所のせん定等の実施回数は記載されているが、本庁舎については実施回数がかかれていないので、記載した方が良いのではないか。

●実施した回数について確認して、記載することとする。

○14ページ、環境施策の方向と市の取組「緑のまちづくり活動ガイドラインの活用を図ります。」と「生け垣奨励助成制度の指定基準や補助金などの充実を図ります。」で、取組状況が検討となっているが、検討結果が記載されていないので、記載した方が良いのではないか。

●24年度中に検討結果が出ていれば、記載することとする。

○15ページ、環境施策の方向と市の取組「農業基盤の整備・改善の検討を進めます。」で、取組状況が「農地を良好に維持し、安定生産ができるよう市街化調整区域内の農道を整備。」と記載されているが、整備した距離を記載した方が良いのではないか。

●整備した距離を記載することとする。

○15ページ、環境指標「体験型市民農園の設置箇所数（箇所）」が2箇所となっているが、体験型市民農園の場所と今後、充実を図っていく計画があるのか教えてほしい。

●体験型市民農園の場所は本町2丁目64区画、中央1丁目40区画、合計104区画である。取組状況に記載している130区画については確認することとする。

○15ページ、環境指標「体験型市民農園の設置箇所数（箇所）」で、目標6箇所に対して、24年度まで2箇所で、増加していないのに、C評価というのは、どういうことか。

●再度確認して、環境施策の方向と市の取組「体験型市民農園の充実を図ります。」の中に記載することとする。

○15ページ、環境施策の方向と市の取組「体験型市民農園の充実を図ります。」で、この体験型市民農園に福祉農園は含まれないのか。

●体験型市民農園は農作物を作ることを目的とした農地としての位置づけで、福祉農園は年配者等の健康管理や自然と親しむことを目的としている農地であり、農地の目的が違うため、体験型市民農園に福祉農園は含まれない。

○17ページ、環境指標「クリーン作戦の参加人数（人）」で、商工会主催のウォーキングイベントで、ごみを拾うことも行っていることから、ウォーキングイベントの参加人数もクリーン作戦の参加人数に含めた方が良いのではないか。

●今後、ウォーキングイベントが継続して実施される場合は、次回の計画を立てる際にウォーキングイベントの参加人数も含めるということにな

れば、この数字を含めた参加人数になる。

- 18ページ、環境施策の方向と市の取組、「景観面に配慮し、違反広告物（チラシ等）の規制を図ります」について、違反広告物ほどのくらい撤去できたのか、また、どういった広告物が多かったのかを分析しているか。
- 詳細な枚数や回数などについては、確認して記載することとする。また、撤去したものの多くは建売りの捨て看板が多い。
- 違反広告物を設置した業者に指導を行っているか。
- 指導を行っている。
- 今回、放射線についての項目はないが、測定箇所の市立小中学校施設公園等の管理者から要望があったところを測定しているのか。また、里山民家周辺も測定した方が良いのでは。
- 放射能の測定箇所は市民等の要望により、市の検討委員会で決定したことであり、子供が影響を受けやすいことを考慮して、測定場所を定めた。また、里山民家については東京都の管理なので測定していない。
- 放射線について、年次報告書に項目はないが、番外編として市で公表した範囲以内で載せてはどうか。
- 現状の環境基本計画で、番外編で記載することは難しいが、別の報告書として作成することは可能である。
- 来年度は作成することはできるのか。市として、放射線について柔軟に対応したと市民の方に示すことも大事だと思われるが。
- 昨年に、環境基本計画の見直しを行った際に、放射能について、記載するかどうか議論になったが一時的なものであり、環境基本計画には記載しないということが決まった。また、現在、放射線について環境基本計画には取組が記載されていないため、年次報告書に記載することが難しいことから、別の方法で検討することとする。
- 放射線の測定結果について公表していないのか。
- 空間放射線量については、毎月測定しており、結果を市のホームページ、本庁舎、市民総合センター、緑が丘出張所で掲示して、市民の方に周知している。また、市報では、去年まで毎週計測していたので載せていた。
- PM2.5について市報等で掲載していないのか。
- PM2.5については、東京都が測定しているので、東京都のホームページで確認してもらいたい。また、市のホームページから東京都のホームページへリンクしている。
- 21ページ、環境指標「地下水の環境基準の達成状況」について、注釈の説明で「継続して監視を実施」とあるが、すでに実施しているのか。
- テトラクロロエチレンが環境基準を超えた地点周辺の調査を行った。
- 21ページ、環境指標「道路交通騒音測定値」で、新青梅街道の測定値が環境基準を超えているが、対応することは難しいと思うが、このままの状態にしておくのか。
- 測定結果は、1日24時間を測定したものであり、測定した日がたまたま環境基準を超過した可能性もあるので、この状況が続くようであれば、その結果をもって、道路管理者に要望等を行っていくことになる。
- 騒音の原因は、舗装やタイヤの問題で騒音等が考えられるが、分析はしているのか。もし、舗装の問題であれば東京都に要望できるのではないか。また、21ページに今後の市の対応を注釈として入れてはどうか。
- 道路交通騒音調査は都へ毎年度報告している。また、新青梅街道は拡幅を進めており、機会があれば都へ要望することとする。なお、市の対応を注釈として入れることとする。

- 23ページ、環境指標「公用車における低公害車の導入台数（台）」を台数が目標の2倍を超えているが、目標台数26台とした経緯を教えてください。
- 目標を設定した当時は、低公害車があまり普及していなく、平成24年度に環境基本計画の見直しを行った際に低公害車の普及、関心が高まったことで、低公害車が目標を超えて導入された。
- 目標の見直しを行ったらどうか。
- 当初の目標を見直ししないことから行っていない。
- 24ページ、環境施策の方向と市の取組「地域住民や関係機関と協力し、水質汚濁の監視や指導に努めます。」で、指導を行った件数を記載したらどうか。
- 記載することとする。
- 25ページ、環境施策の方向と市の取組「騒音・浮上防止型マンホールの設置を進めます。」で、マンホールの191箇所取替えを実施したとあるが、何箇所取替える必要があって実施したのか記載したらどうか。
- 検討することとする。
- 26ページ、環境施策の方向と市の取組「国や都と連携してアスベスト対策を進めます。」で、平成24年度の取組状況について、指導、立入り検査した件数を記載したらどうか。
- 記載することとする。
- 26ページ、環境施策の方向と市の取組「ダイオキシン類の測定調査を定期的に行います。」で、取組状況「空堀川及び残堀川で、河川水中の調査を1回実施。」とあるが、この調査の結果が22ページに記載されているので、その旨を記載したらどうか。
- 記載することとする。
- 27ページ、環境指標「一世帯当たりの使用量」で電気使用量の非公開についての理由を聞いているか。また、市の対応も記載したらどうか。
- 非公開理由の確認はとっていないので、理由を東京電力株式会社に確認することとする。
- 28ページ、環境施策の方向と市の取組「裏面の利用、両面コピー等庁内における資源の有効活用に努めます。」で、全課と実施とあるが、実際にどれくらいの用紙の使用が削減されたのか。
- 環境課で策定している地球温暖化対策実行計画の毎年度の取組結果で使用枚数を集計、確認しているが、内部で報告書等を多数作成すると増加するなど正確に増減は把握できない。
- 29ページ、環境指標の「持込ごみ量」について、目標を大きく上回っているが、市民のゴミ分別の実態について、市ではどのような評価をしているのか、また、適正なゴミ分別を推進するために、市が市民に対しどのような周知方法をとっているのか伺いたい。
- 持込ごみの大半は事業系ごみである。事業系ごみについては、適正な分別がされているか調査を実施しており、産業廃棄物等が含まれている場合には適正に分別をするよう事業者には指導を行っている。また、家庭用廃棄物についても、回収の段階で適正な分別がされていないものがあった場合には回収をしないようにしている。更に、ごみ情報誌を発行し、市のごみ分別等の現状について広報しており、市民に対し適正な分別をするよう促している。
- 事業系一般廃棄物については、事業所において回収量に制限はあるのか。他市では、回収量が一定量を超えると料金が上がるといった制度があるが、本市ではそのような制度があるのか。
- 回収量の制限及び、料金が上がる制度はない。

- 今後、検討していただきたい。
 - 30ページ、環境施策の方向と市の取組「公共施設で使用する物品についてグリーン購入を推進します。」で、グリーン購入法に基づく特定調達品目を積極的に購入とあるが、特定調達品目の内、何%を購入しているかわからないので、数値を追加したほうが良いのではないかと。
 - 記載することとする。
 - 30ページ、環境施策の方向と市の取組「集団回収に対する支援を行います。」の取組内容についても、団体数や金額の他、回収品目等についても追記したほうが良いのではないかと。
 - 記載することとする。
 - 31ページ、環境施策の方向と市の取組「公共施設における屋上や壁面の緑化を推進します。」で、緑が丘出張所で実施していないのか。
 - 緑が丘出張所では、平成24年度においてもゴーヤを使用した緑のカーテンを南側の壁面に設置しているため、取組状況に追記することとする。
 - 32ページ、環境施策の方向と市の取組「フロンガスなどのオゾン層破壊物質の適正管理、回収等に関する情報提供を行います。」について、市でフロンガスの排出量について把握しているか。
 - 把握していない。
 - 32ページ、環境施策の方向と市の取組「工場・事業所からの排出ガスについて指導を行います。」で、ダイオキシンについては、燃焼に伴い発生するダイオキシンの他、古い農薬に含まれていることがあると聞いているが、市ではどのような対応をしているのか。
 - 農薬については、使用者から個別に相談があれば対応する。また、市環境課で実施している市内大気中ダイオキシンの濃度調査結果については、近年濃度が上昇している地点はない。
 - 34ページ、環境施策の方向と市の取組「市内全小、中学校の校庭芝生化を推進します。」で、全小・中学校で芝生化が完了とあるが、いつ完了したのか。
 - 平成24年度で完了している。
 - その他の該当する取組項目にも再掲した方が良いのではないかと。
 - 記載することとする。
 - 35ページ、環境施策の方向と市の取組「市民や事業者との環境に関する意見交換を図ります。」で、消費生活展の開催にあたり意見交換をしたとあるが、実際には意見交換をするようなことがなかったが、取組内容を修正した方が良いのではないかと。
 - 消費生活展の内容については再度所管課に確認して、訂正する。
 - 年次報告書の評価基準を明確にするため、次年度以降については、取組状況毎に評価基準を明確にし、その内容を報告書に記載したほうが良いのではないかと。
 - 検討する。

 - 以上、質疑がないので、今回の意見を取り込み、年次報告書を修正し、まとめて答申することとしたいが。
 - 結構である。今回の意見を踏まえ報告書を修正し、市長に答申することとする。
 - 議題1の「平成24年度武蔵村山市環境基本計画に基づく報告書（武蔵村山市年次報告書）の環境指標及び環境施策の点検・評価について」は終了とする。
- 議題2 その他

